

## ～淡彩画とは～

水彩絵の具の透明感とみずみずさを生かして、線画の下書きに淡く色を重ねる描き方です。短い時間で、手軽に描くことができます。道具を余り必要としないので、旅先でのスケッチにも最適です。

## ～淡彩画のこつ～

### ○描きたいものを強調して

何が描きたいのかをみきわめて、それを中心に強調して描くことが大事です。

### ○線画はあっさりと

細かい部分にこだわらずに、最小限の線で全体的な形をとらえましょう。色で表現できるところは色にまかせて省略します。

### ○たっぷりの水で

絵の具はほんの少し、筆にたっぷりと含ませて、紙に色を置くように描いていきます。色の濃淡は水の量で調整します。白絵の具は使いません。

### ○感じた色で

本物そのままの色で描く必要はありません。感じた色を大胆に使ってみましょう。実際より明るめの色の方が絵に輝きが出ます。

色をたくさん混ぜたり、何度も塗り重ねると濁ってしまうので気をつけましょう。

### ○のびのびと

形の通りに塗るより、のびのびといきおいをつけて描く方が絵が生き生きとします。ただし、雑にはならないように。

### ○塗り残しを気にせずに

適度な塗り残しは画面にさわやかな感じを与えます。また、まわりも全部塗る必要はありません。余白を残す方が余韻を感じられます。

---